

当初予算と6月補正予算を合わせた平成29年度の通年予算は「北陸の際立ったまち『国際都市こまつ』」を目指し、次のステージ「躍動！小松」の実現に向けた予算編成となっています。

平成29年度は、医療・福祉・教育の更なる充実に加え、ひとつくりの拠点となる公立小松大学の開学準備、新しい産業の創出・育成によるバランスのとれた産業構造の構築、大交流時代を控え、地域資源のブランド力向上などを進めます。「ふるさとこまつ」に住むひと・訪れるひと、全てのひとがやさしさに包まれる「みんなの笑顔いっぱい」のまちを共に創り上げ、未来へつないでいきます。

特別会計内訳【前年比 2.4%減】

会計名	予算額	前年比
国民健康保険事業	122億7,300万円	▲2.1%
介護保険事業	98億1,500万円	2.6%
公債管理	90億9,550万円	3.9%
産業団地事業	3億4,900万円	▲59.4%
後期高齢者医療	13億7,200万円	7.8%
合計	329億450万円	▲2.4%

特別会計…国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入を集めて運営する事業

企業会計内訳【前年比 7.2%増】

会計名	予算額	前年比
水道事業	32億7,530万円	5.9%
下水道事業	104億8,080万円	13.1%
病院事業	93億7,000万円	1.7%
合計	231億2,610万円	7.2%

企業会計…料金収入を集めて民間企業のように事業収益で運営する事業

※平成29年度から簡易水道事業を水道事業に、農業集落排水事業を下水道事業に会計を統合しています。

躍動！

小松へ

特集

平成29年度
小松市の予算について

平成29年度予算(当初予算+6月補正予算)

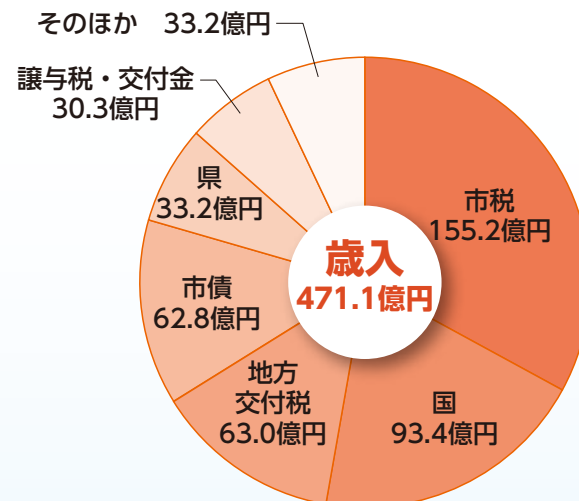
全会計 1031.4億円

一般会計 471.1億円

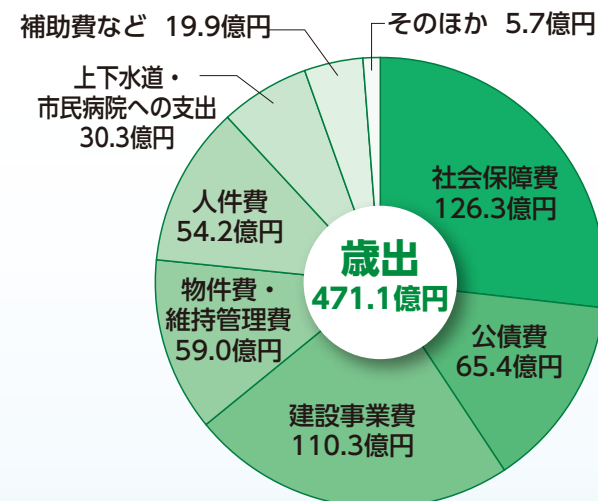
特別会計 329.0億円

企業会計 231.3億円

一般会計内訳【前年比 11.2%増】



一般会計の歳入は47.5億円増(前年比11.2%増)。市税は雇用・所得環境の堅調な推移、家屋の新増築の影響などにより、3.4億円増(前年比2.2%増)となっています。



建設事業費が50.9億円増(前年比85.6%増)となり、その中でも国の補助金を活用した事業費が110.9%増と大きく伸びています。

小松市の一般会計を家計簿に置き換えてみると…

年収471万円(市の歳入の約1万分の1の額)、月収39.3万円としたときの家計簿となっています。

収入

給料(市税、地方交付税、譲与税など)	20.7万円
役所からの助成金・奨学金(国県支出金)	10.6万円
各種ローンの借入れ(市債)	5.2万円
パート収入など(その他)	2.8万円
合計	39.3万円

支出

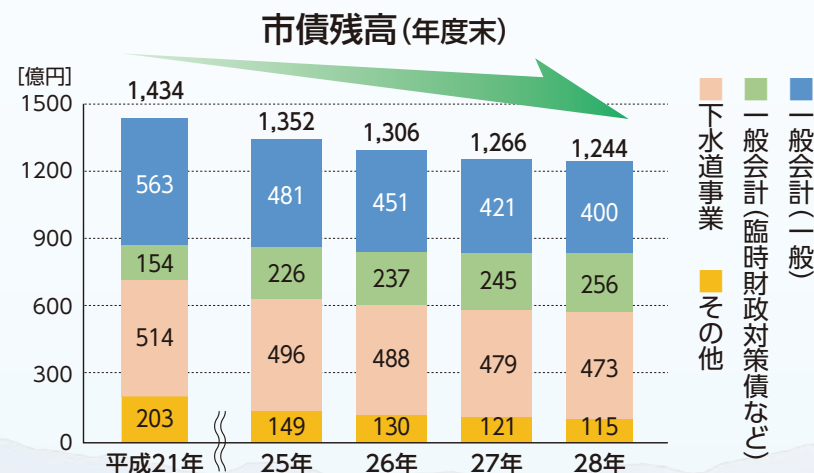
食費(人件費)	4.5万円
医療や介護費、保育費(社会保障費)	10.5万円
住宅ローンなどの返済(公債費)	5.5万円
家の改築、家電製品の買い替え(建設事業費)	9.2万円
学費、光熱水費、日用品費(物件費・維持管理費)	4.9万円
子どもへの仕送りなど(上下水道・市民病院への支出)	2.5万円
雑費(補助費、その他)	2.2万円
合計	39.3万円

市債残高の状況

小松市の借金(市債)の残高は、市債発行の抑制や繰上返済などにより、平成21年度の1,434億円をピークに平成22年度以降は減少に転じています。

平成28年度末の残高は、前年度より約22億円改善し、全会計の残高は1,244億円となります。

平成29年度6月補正においても繰上返済の予算が議決されており、今後も将来負担の軽減に努めます。



「みんなの笑顔いっぱいのまち」 実現のために

5



大交流時代へ 世界から評価されるまちへ

- 栗津温泉開湯1300年へ
にぎわいを創出する交流広場を整備 **2億8,500万円**
- 遊泉寺銅山跡のモニュメント・公園・遊歩道などの整備支援 **5,000万円**
- オリンピック・パラリンピックに向けた木場潟カヌー競技場の
高機能化・トレーニングセンター建設 **1億2,986万円**
- 前川と梯川の合流地点に親水スポーツ公園を整備
(実施設計及び造成工事) **3,000万円**
- 西尾地区に地元酒米を使用する酒造設備の整備支援 **1億3,100万円**
- 石文化拠点施設となる(仮称) 九谷焼創作工房を整備 **5,000万円**



(仮称) 小松駅南ブロック複合施設



家族みんなの安全安心



遊泉寺銅山跡の整備支援



木場潟カヌー競技場の設備充実



ごみダイエツ50%OFF達成を目指し継続推進

6



みんなの暮らしを支える 地域の絆とやさしさ

- (仮称) エコロジーパークこまつ・グリーンセンターこまつ
建設(平成30年7月稼働予定) **46億円**
- ごみダイエツ50%達成を目指し制度継続 **3,840万円**
- 第2期推進プラン「フローラルこまつ2020」の展開 **1,940万円**
- 高齢者総合相談センターの機能を充実 **1,000万円**
- 木曽町住宅建て替え(平成30年度 第1期工事完成予定) **3億5,350万円**
- 第一地区コミュニティセンター大規模改修 **1億6,000万円**
- 学習等供用施設の改修
(東陵、四丁、上牧、鶴ヶ島地区など) **1億7,800万円**

7



ICTが夢を広げる スマートライフ

- 全国で利用可能なJapan Wi-Fiと連携
(木場潟公園など市内公共施設12カ所対応) **390万円**
- 公共施設の利用やイベントなどの参加でポイント付与
カブッキーポイントの構築 **280万円**

8



財政の健全化

- 将来負担軽減に向けた市債の繰上償還 **1億円**
- 特別職の給与の減額 **△149万円**

1



世界で、ふるさとで活躍するひとづくり

- 公立小松大学開学に向けた設備整備や
末広キャンパスの用地取得・造成 **4億1,500万円**
- 金野小、西尾小、波佐谷小の統合を推進
(校舎修繕など) **600万円**
- 小・中学生の海外文化に対する理解や
英語力の向上を推進 **4,390万円**
- ロボット教育などを充実させ、未来を担う
子どもたちのものづくりに対する興味を促進 **3,900万円**

2



北陸のダントツなまちへ

- 北陸新幹線金沢ー敦賀間の建設負担金 **1億400万円**
- 駅周辺の利便性を向上(市民交流ラウンジ、
屋根付き通路、駅南駐車場) **3億200万円**
- まちなかに市民と学生の交流拠点を整備 **6,360万円**
- 正蓮寺エリアに産業団地造成 **3億4,720万円**

3



子どもたちの笑い声があふれ 家族みんなの安全安心

- 土・日曜日も開設「学び」をテーマにした
子育て支援拠点「カブッキーランド」の運営 **6,350万円**
- 第2子以降の病児・病後児保育利用料助成
(平成29年4月～) **50万円**
- 消防庁舎に災害対策本部の代替機能を整備 **1,000万円**
- 高規格救急車・消防団ポンプ車の整備 **4,935万円**

4



スポーツ施設の充実 機会の創造

- 能美小・荒屋小グラウンド
月津小・丸内中体育館の床改修 **4,060万円**
- 大杉みどりの里クロスカントリーコース整備 **2,400万円**
- 体育施設整備(国府台テニスコート人工芝改修、
末広屋外プール電光掲示板改修など) **2,490万円**
- 桜木体育館大規模改修に向けた実施設計 **610万円**

NEXT10年ビジョンの
実現に向けて

主な施策

ひとづくり

共創

平成29年度の予算執行においても、
健全な財政をめざすとともに、
NEXT10年ビジョンの着実な実現に向け、
8つのテーマで各種施策を展開します。